

企画展

石神井公園

—池のほとりに育まれた自然と歴史—



写真：上段右から「嘉陵紀行」文化～天保年間 国立公文書館提供／三宝寺池畔に造られた人工滝 大正12(1923)年以前／三宝寺池畔に造られた日本初の100mプールでの石神井游泳団の記念撮影 大正14(1925)年／「武蔵野鉄道沿線案内」(部分) 昭和4(1929)年～昭和8(1933)年／石神井池での灯籠流し 昭和29(1954)年 練馬区提供／国指定天然記念物「三宝寺池沼沢植物群落」のカキツバタ／石神井公園のカワセミ 都立石神井公園提供／春の三宝寺池／石神井池のかいぼり 令和3(2021)年

令和4(2022)年6月18日(土)～8月14日(日)

会場 練馬区立石神井公園ふるさと文化館 2階企画展示室

特別協力 都立石神井公園

観覧無料

会期中のイベント

1 講演会 石神井公園のあゆみ

講師：当館学芸員
 日時：7月31日(日)14時～15時30分
 会場：石神井公園ふるさと文化館
 多目的会議室
 定員：90名(抽選)
 参加費：無料



公式ホームページ内
イベントページ

申込：往復はがきまたは当館ホームページ内のイベントページから申込フォームにて、7月12日(火)必着

2 公演 邦楽で聴く練馬・石神井の昔ばなし

尺八・琵琶・ピアノの演奏で、練馬や石神井に伝わる昔ばなしの語りをお楽しみいただきます。
 演奏者：洲上ファエル広志(尺八)・石引康子(琵琶)・小林萌里(ピアノ)

日時：8月11日(木・祝)16時～17時
 会場：旧内田家住宅
 (石神井公園ふるさと文化館隣接
 区立池淵史跡公園内)



公式ホームページ内
イベントページ

定員：30名(抽選)
 参加費：無料

申込：往復はがきまたは当館ホームページ内のイベントページから申込フォームにて、7月20日(水)必着

1、2の申込方法…往復はがきまたは当館ホームページ内の申込フォームにて①イベント名②氏名(ふりがな、2名まで)③住所④電話番号を記入の上、石神井公園ふるさと文化館(〒177-0041 練馬区石神井町5-12-16)へ。

3 展示解説会

日時：7月14日(木)、8月7日(日)
 各回10時から30分程度
 会場：石神井公園ふるさと文化館 企画展示室
 定員：50名
 参加費：無料
 申込：当日先着順受付

練馬文化センター連携企画

ワークショップ「石神井公園で音あつめ」 アフタヌーン・ミニコンサート7月(特別公演)

石神井公園を探索して公園内の様々な音を集めるワークショップと、集めた音を使い、マリンバとアコーディオンのコンサートを行います。

日 程：ワークショップ 7月21日(木)
 ミニコンサート 7月26日(火)

詳細は6月上旬に練馬文化センターの公式ホームページ等でお知らせします。詳しくは、練馬文化センターの公式ホームページまたは窓口(電話03-3993-3311)へお問合せください。

1.上部が三宝寺池で、現在、石神井池がある場所には、水田が広がっていました。/2.大正・昭和時代の版画家・川瀬巴水の作品。三宝寺池は郊外の自然豊かな地として、芸術家たちに取り上げられました。/3.かつては、三宝寺池でボート遊びが行われていましたが、昭和9(1934)年に石神井池が作られてからは、石神井池がボート池となりました。/4.石神井城主の豊島氏にちなんだ名称のまつりで、都立石神井公園とその周辺で行われます。本年で35回となりました。

石神井公園周辺は、現在でも区内有数の豊かな自然環境が維持されています。付近には旧石器時代以降の遺跡が点在し、中世には豊島氏が築いた石神井城跡があるなど、人々の営みが連続と続く歴史ある地です。

武蔵野三大湧水の一つである三宝寺池は、地下水が枯れることがなく湧き出る水源地であるため、江戸時代には水に関する信仰の地となり、風光明媚な場所であることから、江戸の文人にも知られる名所となりました。三宝寺池には、水温が低く水のきれいな場所にも知られる水生植物が繁茂しており、昭和一〇(一九三五年)、「三宝寺池沼沢植物群落」が国指定天然記念物となりました。

大正四(一九一五年)、武蔵野鉄道(現西武鉄道)の石神井駅(昭和八(一九一三年)石神井公園駅に改称)が開設されると、地元の人々は、周辺の観光地化に努めていくようになりまし。石神井公園周辺は、都市において良好な自然景観を形成しており、土地利用計画や、都市環境の保全を図るために風致の維持が必要な区域として、昭和五(一九三〇)年、風致地区に指定されました。

石神井公園が都立公園となったのは、昭和三四(一九五九)年のことです。日本初の百メートルプールがあった地は、戦後に釣堀となった後、平成元(一九八九)年に水辺観察園となり、かつての武蔵野に生育していた植物を紹介しています。石神井池では、令和三(二〇二一)年にかいほりが行われました。石神井公園は、様々な試みを行いながら、現在も良好な水辺環境が保たれ、人々にも親しまれ続けています。

本展では、収蔵資料を中心として、石神井公園のあゆみを紹介します。

企画展

石神井公園

池のほとりに育まれた自然と歴史

観覧無料



1.石神井池ができる前の航空写真 大正～昭和初期



2.版画「三宝寺池」昭和5(1930)年



3.石神井池でのボート遊び 昭和10(1935)年頃

4.第1回照姫まつり案内 昭和63(1988)年



石神井公園ふるさと文化館・交通案内

- 西武池袋線「石神井公園駅」下車徒歩15分
- 西武バス「JA東京あおば」下車徒歩5分
- みどりバス「JA東京あおば」下車徒歩5分
- 西武バス「三宝寺池」下車徒歩2分
- 西武新宿線「上井草駅」下車徒歩25分
- 荻14(石神井公園駅南口～J A東京あおば～上井草駅～荻窪駅)
- 関町ルート(関町福祉園～武蔵関駅南口～上石神井駅～J A東京あおば～練馬高野台駅～順天堂練馬病院)
- 荻15(長久保～大泉学園駅南口～三宝寺池～上井草駅～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)

*一般利用者用駐車場はありませんので、周辺の有料駐車場をご利用ください。

練馬区立 石神井公園

ふるさと文化館

NERIMA SHAKUJIKOEN FURUSATO MUSEUM

〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16 TEL:03-3996-4060

<https://www.neribun.or.jp/furusato.html>



[Uni-Voice]コード

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用・手指の消毒・検温など、ご協力をお願いしております。また、感染状況によっては展覧会および関連イベントの中止や内容を変更する場合がございます。